

連載

農を学ぶ

栃木県農業大学校②

園芸経営学科野菜専攻

園芸経営学科野菜専攻では、主にトマトとイチゴについて、講義及び実験、実習で実践的な技術・知識を学びます。

授業時間のほぼ半分を占める実習において、トマトの学習では、土を使わずロックウール培地を使用し肥料を水に溶かした養液で大玉やミニトマトを栽培しています。また、去年JA全農と



トマト栽培を専攻する学生



イチゴ栽培を専攻する学生

ちぎから寄贈していただいた高軒高ハウスでは、ハイワイヤー栽培をメインに行っており、高い軒を活用することで誘引する位置が一般的なハウスに比べかなり高い場所になります。その結果、効率よく光合成を促進させることが出来ることから、今までより更に美味しいトマトづくりを目指して学習に励んでいます。イチゴでは、「とちおとめ」や

「とちひめ」そして「スカイベリー」の品質の違いを、また、土耕と水耕、パイプハウスとガラスハウスによる生育の違いなどを調査しています。特にスカイベリーは、全国の学校でここ栃木県農業大学校の野菜専攻でしか栽培を行っていません。また、実習だけでなく講義もしっかり受けます。トマト、イチゴの歴史や栽培方法などの基礎的なことから、なす、きゅうり、ネギも学び幅広く将来に活かせる知識を身につけていきます。

寮生活では、これからの農業を支えていく仲間ができ、その仲間たちと情報交換や思い出作りなどたくさんさんの経験ができました。大切な仲間たちと残り少ない学校生活を共に楽しみつつ自己研鑽し、それぞれの将来へ進んでいきたいと思

(園芸経営学科野菜専攻・

和久井 瞳)